

事業概要説明シート

事務事業番号 30668

事務事業名	商店街等活性化促進事業(補)		
事業開始年度	平成18年度	担当部署	産業振興課

根拠法令	枚方市商店街等活性化促進事業補助金交付要綱
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的 (何のために)	地域連携等による商店街等の主体的取り組みを醸成し、変遷するニーズに応えるとともに、新たなニーズを発掘しうる商業の集積を図ることで、地域活性化に資することを目的としている。
対象 (誰・何を対象に)	商店街等市内商業団体
事業内容	市民の消費生活の充実及び商店街等の振興を目的とする販売事業、地域団体等との連携や地域資源を活用した商店街等の活性化を図る事業、商店街等の魅力を高めるために共同施設等の設置・補修する事業等への複合的な支援をもって、商店街及び地域の活性化を図る。
類似事業	中小企業庁:中小商業活力向上事業、地域商業再生事業 大阪府:まちづくり一体型商店街活性化支援事業
事業の必要性	市内商業の活性化だけでなく、地域に根づいた団体として地域貢献活動にも寄与する商店街活動の支援は地域コミュニティづくりの観点からも必要である。

コスト		H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.51人	4,138千円	0.53人	4,288千円	0.50人	4,000千円	
再任用職員	0.0人	0千円	0.0人	0千円	0.0人	0千円	
非常勤職員等	0.0人	千円	0.0人	千円	0.0人	千円	
人件費計(A)		4,138千円	4,288千円	4,000千円			
直接経費(B)		27,593千円	10,415千円	23,000千円			
総事業費(A+B)		31,731千円	14,703千円	27,000千円			

財源内訳		H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
府支出金	4166千円	462千円	0千円				
受益者負担 (使用料等)	0千円	0千円	0千円				
その他	0千円	0千円	0千円				
一般財源	27,565千円	14,241千円	27,000千円				

	内 容	金 額
平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	事業補助金	14,241千円
		千円
		千円

事業概要説明シート

事務事業番号 30668

事務事業名	商店街等活性化促進事業(補)		
事業開始年度	平成18年度	担当部署	産業振興課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
活動実績	① 補助金交付件数	件	28	24	25
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 事業費/交付件数	円	984,464	593,375	760,000
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	商店街等の活性化に繋がる事業への補助金交付件数及び商店街等への参加店舗数や集客数の増加				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	商店街等への補助事業は府内各市町村で実施されており、ソフト事業からハード事業まで幅広いメニューによる支援が実施されている。				
特記事項	商店街等の現状やニーズに鑑み、より効果的となるように補助金交付要綱を毎年度見直している。平成24年度からは事業ごとの集客効果と売上高について、パーセンテージ表記での実績報告書の提出を義務づけている。				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	経済状況に鑑み、補助内容の見直しも検討しながら、当該制度の活用をもって商店街等の活性化を図る。			
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化に向けた見直しの検討が必要では ・補助事業としての有効な内容の再検討の必要性があるのでは 				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	実績や実態把握による効果的な制度構築によって、商店街等への参加店舗数や集客数の増加を図る。			